

# <介護職員初任者研修 情報公開>

## 【研修機関情報】

- ・法人名

学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校

- ・住所

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 3 7 4 - 1

- ・代表者

校長 伊藤 祐寛

- ・事業所名称

学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校

- ・住所

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 3 7 4 - 1

- ・理念

「人間の尊厳の尊重」を教育の理念として介護の倫理を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ介護福祉の専門知識の育成を目的とします。対人援助サービスの中で、習得した知識と技術を実践することにより、介護の質を高め、地域福祉の向上に貢献し、より良き福祉社会を担える人材の輩出を使命とします。

- ・学則

学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校 介護職員初任者研修講座 学則

### 1. 事業所の名称及び所在地

名称：学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校

所在地：山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 3 7 4 - 1

### 2. 研修事業の名称

優和福祉専門学校 介護職員初任者研修講座

#### (1)開講目的

高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切な介護員を提供し、その高齢者が住み慣れた地域・環境で、家族とともに生活が続けられるよう、必要な知識・技能を有する介護員の養成を図ることを目的とする。

#### <基本的心得の習得>

- ①守秘義務 ②時間厳守 ③傾聴 ④言葉使い ⑤服装・態度
- ⑥約束を守る ⑦忘れ物をしない ⑧提出物の徹底 ⑨健康管理
- ⑩気づき ⑪報告・連絡・相談 ⑫記録の大切さ 等

### 3. 実施課程及び形式

介護職員初任者研修課程（通信講座）

### 4. 研修会場

本研修は、次の会場で実施する。

学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 3 7 4 - 1

## 5. 研修日程表

別紙「日程表」「通信分日程表」「講義内容・演習実施方法」を参照。

## 6. 受講定員

36名

## 7. 研修責任者の氏名

学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校

優和スクール 主任講師 堀内 久子

## 8. 講師氏名及び担当科目

別紙「講師一覧表」を参照。

## 9. 実習施設

実施する。(1日)「実習施設一覧」を参照

## 10. 研修修了の認定方法

認定方法：すべての研修を修了し、修了評価の筆記試験に合格した者に修了証明書を交付する。

修了評価方法：別紙「修了評価の方法」参照。

### 11. 開講時期

開講の時期は別紙「日程表」のとおりとする。

### 12. 受講対象者

山梨県内在住でスクーリング及び実習に通学可能で心身ともに健康な者。

ただし、現在妊娠中の者を除く。

### 13. 受講手続き

募集手続きは次のとおりとする。

(1)電話にて事前に申込みをした上、面接説明会に参加し、面接を受ける。

(2)本校は、書類及び面接審査の上、受講者の決定を行い、受講決定通知書を応募者に郵送する。受講決定者は、指定の口座へ研修参加費用を振込み、受講申請書及び受講誓約書に記入の上、期日までに郵送または持参する。

(3)本校は研修参加費用の振込及び前条書類の提出をもって、受講意思を確認する。

(4)本校は開講日に教材を配布する。

### 14. 使用教材

研修に使用する教材は次のとおりとする。

介護職員初任者研修テキスト（全3巻）

長寿社会開発センター 出版

### 15. 補講の実施方法及び返金等の取扱い

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、補講を行うことにより当該科目を修了した者とみなす。

ただし、実習の補講については1日につきそれぞれ2,000円を受講者の負担とする。

(また、補講の実施は原則として本校において実施する予定であるが、やむを得ない場合は他の事業者で実施する場合もある。その場合の受講料は、他の事業者の定める金額による。)

### 16. 研修欠席者の扱い

理由の如何にかかわらず、研修開始から10分以上遅刻した場合は欠席とする。また、やむを得ず欠席をする場合は必ず欠席届を提出する。

### 17. 受講料、教材費等及び返金等の取扱い

研修参加費用は次のとおりとする。

金額88,000円（受講料：81,200円 テキスト代：6,800円）

## <受講中止の場合の返金の有無>

### 自己都合による受講中止の場合

- テキスト配布前の受講中止 全額返金（８８，０００円）

注）振り込み手数料は受講生に負担していただきます。

- テキスト配布後の受講中止 返金無（０円）

### 自己都合によらない受講中止の場合

- テキスト配布前の受講中止 全額返金（８８，０００円）

注）振り込み手数料は受講生に負担していただきます。

- テキスト配布～修了審査での受講中止 半額返金（４４，０００円）

- 修了審査～実習での受講中止 返金無（０円）

## 18. 本人確認及び個人情報の取り扱い

(1)開講日に本人確認を行う。(運転免許証・健康保険証・など)

(2)本校が収集した受講者の個人情報については、適切な管理を行い、紛失・破壊・改ざん・漏えいなどの防止に努める。

取得した受講者の個人情報について、ご本人の同意なく開示することはない、当校養成講座参加により、ほかの受講者が個人情報を閲覧されることはない。

## 19. 科目の免除

介護等の実務経験が1年以上の者が受講した場合においては、受講中にその証明書を提出できるものは、現場実習（1日）科目を免除できる。ただし、受講料の減免はしない。

## 20. 受講の取消し

次の①又は②に該当するものは、受講を取消することができる。ただし、研修開始後に受講を取消す場合は、受講料の返却はない。

- ①学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者。
- ②研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者。

## 21. 修了証書等の交付

修了を認定された者は、本校において、修了証明書及び修了証明書（携帯用）を交付する。

## 22. 修了者管理の方法

修了者の管理方法については下記の通りとする。

修了者は修了者台帳に記載し、山梨県で指定された様式に基づき知事に報告する。

## 23. 情報開示の方法

ホームページにて開示する。<http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp>

## 24. 苦情等相談担当

優和福祉専門学校 優和スクール 事務 日原 盛一

## 25. 研修事務担当者

優和福祉専門学校 優和スクール 事務 日原 盛一

## 26. 情報開示責任者

優和福祉専門学校 優和スクール 事務 日原 盛一

## 27. 課程編成責任者

優和福祉専門学校 優和スクール 講師 堀内 久子

## 28. 施行細則

この学則に必要な細則並びに、この学則に定めのない事項で必要があると認められる時は、本校がこれを定める。

- ・この学則は平成25年4月1日から施行する。
- ・この学則は平成26年4月1日から施行する。
- ・この学則は平成27年4月1日から施行する。

・研修施設・設備

地上2階

教室、介護実習室・入浴実習室・パソコン室・図書室・調理室

名 称	メーカー	台 数	購入・レンタル
① ベッド	パラマウントベッド	5台	購入
② 車いす	マツナガ（自走式）	5台	購入
③ ポーブルトイレ	安寿	5台	購入
④ 高齢者体験装具	京都科学	2セット	購入
⑤ 体交枕		3セット	購入

・対象

山梨県内在住でスクーリング及び実習に通学可能で心身ともに健康な者。ただし、現在妊娠中の者を除く。

・研修スケジュール

第1期	平成30年3月5日	～	平成30年7月30日
第2期	平成30年6月26日	～	平成30年9月27日
第3期	平成30年8月3日	～	平成30年12月21日
第4期	平成30年11月3日	～	平成31年3月23日

・定員（集合研修・実習）

36名

・指導者数

8名

・研修受講までの流れ

(1)電話にて事前に申込みをした上、面接説明会に参加し、面接を受ける。

(2)本校は、書類及び面接審査の上、受講者の決定を行い、受講決定通知書を応募者に郵送する。受講決定者は、指定の口座へ研修参加費用を振込み、受講申請書及び受講誓約書に記入の上、期日までに郵送または持参する。

(3)本校は研修参加費用の振込及び前条書類の提出をもって、受講意思を確認する。

・費用

88,000円（テキスト代・実習費含む）

・留意事項、特徴、受講者へのメッセージ

介護職員初任者研修（優和スクール）では、豊富な現場経験を持った多彩な講師が、受講者一人一人に介護の基本を細かく指導いたします。講義だけでなく、様々な器具や設備を活用した演習なども行います。本校は介護福祉科が併設されているため専門学校ならではの設備・器具の活用、電動ベッドや福祉用具の活用特殊浴槽など介護専門機器も充実した中で学べる環境です。

・課程編成責任者

責任者 日原 盛一

## 【研修カリキュラム】

- ・科目別シラバス  
別紙「シラバス」の通り
- ・科目別担当教官名

### 講 師 一 覧 表

氏 名	担当科目（細目）	現 職（在職年数） 資格(取得年月日)及び経歴(経験年数)	専任・兼任
堀内 久子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なサービスの理解</li> <li>・人権と尊厳を支える介護／自立に向けた介護</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・介護職の仕事内容や働く現場の理解</li> <li>・介護におけるコミュニケーションチームのコミュニケーション</li> <li>・こころとからだのしくみ</li> <li>・総合生活支援技術演習</li> <li>・振り返り</li> </ul>	資格：介護福祉士（平成 20 年 4 月） 介護支援専門員（平成 24 年 3 月） 経歴：訪問介護員（8 年 6 カ月） 現職：優和福祉専門学校 優和スクール 主任講師	専任
小俣 登喜子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なサービスの理解</li> <li>・介護職の仕事内容や働く現場の理解</li> <li>・認知症を取り巻く状況</li> <li>・家族への支援</li> <li>・介護の基本的考え方</li> <li>・介護に関するこころのしくみの基礎的理解</li> <li>・介護に関するからだのしくみの基礎的理解</li> <li>・こころとからだのしくみ</li> <li>・介護課程の基礎的理解</li> <li>・振り返り</li> </ul>	資格：介護福祉士（平成 18 年 4 月） 経歴：介護施設 介護職（4 年 6 カ月） 訪問介護員（7 年） 現職：優和福祉専門学校 優和スクール 非常勤講師	兼任
野中 和美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療との連携とリハビリテーション 障害者総合支援制度</li> <li>・老化に伴うこころとからだの変化と 日常／高齢者の健康</li> <li>・認知症に伴うこころとからだの変化</li> <li>・医学的側面から見た認知症の基礎と 健康管理</li> <li>・障害の基礎的理解／障害の医学的側 面、生活障害、心理・行動の特徴／ 家族の心理、かかわり支援の理解</li> <li>・死にゆく人に関したこころとからだ のしくみと終末期介護</li> </ul>	資格：看護師（昭和 61 年 5 月） 介護支援専門員（平成 13 年 3 月） 経歴：病院施設（7 年） 介護支援専門員(15 年 6 カ月) 現職：通所介護施設 介護支援専門員	兼任

佐久間 正美	・介護職の役割、専門職と多職種との連携／介護職の職業倫理 ・介護における安全の確保とリスクマネジメント／介護職の安全	資格：介護福祉士（平成元年8月） 経歴：介護施設 介護職（20年） 現職：調査員	兼任
中村 和子	・こころとからだのしくみ（生活支援技術）	資格：介護福祉士（平成23年4月） 経歴：介護施設 介護職（8年2カ月） 現職：介護老人施設 介護支援専門員	兼任
金丸 直明	・こころとからだのしくみ（生活支援技術）	資格：介護福祉士（平成7年4月） 経歴：介護施設 介護職（17年） 現職：自営業	兼任
山本 浩美	・老化に伴うこころとからだの変化と日常／高齢者の健康	資格：看護師（昭和63年4月） 介護支援専門員（平成14年3月） 経歴：病院施設（7年） 介護支援専門員（10年2カ月） 現職：老人保健施設 介護支援専門員	兼任
塩澤 紀子	・老化に伴うこころとからだの変化と日常／高齢者の健康	資格：看護師（昭和53年4月） 経歴：病院施設（7年） 現職：優和福祉専門学校 教頭	兼任

・科目別特徴

別紙「シラバス」の通り

・実技内容・備品

実技内容は別紙「シラバス」の通り

備品は研修施設・設備の通り

・指導体制

講師が1名。受講生が適宜グループを作り、講師が巡回し、演習の状況を確認する。

・科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間

別紙「シラバス」「通信学習実施計画書」の通り

## <通信学習実施計画書>

### 1. 講義を通信の方法によって行う地域

山梨県全域とする。ただし、他県の場合でも受講する事が可能な場合は協議の上決定する。

### 2. 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問は、質問表及びメール、電話、FAXによるものとする。

添削担当講師：堀内 久子

電話番号 055-268-6002 (受付時間 午前9時～午後5時)

FAX番号 055-268-6003

メールアドレス [yuwa.school@ito-gakuen.ed.jp](mailto:yuwa.school@ito-gakuen.ed.jp)

### 【添削指導】

担当講師：学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校 専任講師

#### 指導法

①講座開始日に受講生へ使用テキストとレポート課題を配布し、自宅学習を行う。

自宅学習の成果を確認するため、レポート課題を3科目につき1回の提出を課す。

②使用するレポート課題は、使用テキスト「介護職員初任者研修テキスト」(財団法人長寿社会開発センター)をもとに当法人で作成したものを使用し、その内容は各カリキュラムを網羅するものである。

③提出されたレポート課題は、担当講師が採点し、理解度の順にA B C Dの区分で評価する。  
理解度がDの場合は、レポートを再提出させて、学習の向上を図る。

評価内容(100点満点)

A : 100～90 B : 89～80 C : 79～70 D : 70未満

④通信による学習で陥りがちな独りよがりや思い込みを防ぎ、不明確な事柄や学習の内容をフォローするために、質問事項はFAXまたは郵便にて送付してもらい、後日、担当講師より回答を送ることとする。

### 【面接指導】

担当講師：学校法人伊藤学園 優和福祉専門学校 専任講師

#### 指導法

①スクーリング第2日から第13日(計12日)で、1日30分(計6時間)の面接指導を行う。

②面接内容については、指導担当講師による理解度の確認、及び受講生からの不明点・質問等に回答する形式で行う。

科目と項目	研修時間数		
	計	通信 相当分	通学
<b>1 職務の理解（6時間）</b>			
①多様なサービスの理解	3		3
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3		3
<b>2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）</b>			
① 人権と尊厳を支える介護	4	3.5	0.5
② 自立に向けた介護	5	4	1
<b>3 介護の基本（6時間）</b>			
① 介護職の役割、専門職と多職種との連携	2	1	1
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5
③ 介護における安全の確保とリスクマネ	2	1	1
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5
<b>4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携（9時間）</b>			
① 介護保険制度	5	4	1
② 医療との連携とリハビリテーション	1.5	1	0.5
③ 障害者総合支援制度	2.5	2	0.5
<b>5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）</b>			
① 介護におけるコミュニケーション	3.5	1.5	2
② 介護におけるチームのコミュニケーシ	2.5	1.5	1
<b>6 老化の理解（6時間）</b>			
① 老化に伴うこころとからだの変化と日	3	1.5	1.5
② 高齢者の健康	3	1.5	1.5
<b>7 認知症の理解（6時間）</b>			
① 認知症を取り巻く状況	2	1	1
② 医学的側面から見た認知症の基礎と	2	1	1
③ 認知症に伴うこころとからだの変化	1.5	0.5	1
④ 家族への支援	1.5	0.5	1
<b>8 障害の理解（3時間）</b>			
① 障害の基礎的理解	1.5	0.5	1
② 障害の医学的側面、生活障害、心理	1	0.5	0.5
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5
<b>9 こころとからだのしくみと生活支援技術（7.5時間）</b>			
① 基礎知識の学習	10	2	8
② 生活支援技術の講義・演習	5.4	6	4.8
③ 生活支援技術演習	1.1	4	7
<b>10 振り返り（4時間）</b>			
① 振り返り			2
② 就業への備えと研修修了後における			2
計			
○ 修了評価（1時間）			



提出回	科目・項目	提出期限
第1回	<b>介護における尊厳の保持・自立支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権と尊厳を支える介護</li> <li>・自立に向けた介護</li> </ul>	教材配布～1週間以内
第2回	<b>介護の基本</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の役割、専門職と多職種との連携</li> <li>・介護職の職業倫理</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>・介護職の安全</li> </ul>	
第3回	<b>介護・福祉サービスの理解と医療の連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度</li> <li>・医療との連携とリハビリテーション</li> <li>・障害者総合支援制度</li> </ul>	教材配布～2週間以内
第4回	<b>介護におけるコミュニケーション技術</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーション</li> <li>・介護におけるチームのコミュニケーション</li> </ul>	
第5回	<b>老化の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化に伴うこころとからだの変化と日常</li> <li>・高齢者の健康</li> </ul>	教材配布～3週間以内
第6回	<b>認知症の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症を取り巻く状況</li> <li>・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理</li> <li>・認知症に伴うこころとからだの変化</li> <li>・家族への支援</li> </ul>	
第7回	<b>障害の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の基礎的理解</li> <li>・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴</li> <li>・家族の心理、かかわり支援の理解</li> </ul>	
第8回	<b>こころとからだのしくみと生活支援技術（1）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識の学習</li> <li>・生活支援技術の講義・演習</li> <li>・生活支援技術演習</li> </ul>	
第9回	<b>こころとからだのしくみと生活支援技術（2）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識の学習</li> <li>・生活支援技術の講義・演習</li> <li>・生活支援技術演習</li> </ul>	教材配布～4週間以内

- ・通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題  
別紙「通信学習実施計画書」の通り
- ・修了評価の方法、評価者、再履修等の基準  
修了評価の方法：筆記試験 70 点以上  
評価者：優和スクール 講師  
詳細は「修了評価の方法」の通り

#### <修了評価の方法>

##### 1 出題範囲（出題する科目）

指定テキスト（財長寿社会開発センター発行「介護職員初任者研修テキスト」）の全範囲

##### 2 出題形式

四択一形式及び記述形式とする。

##### 3 出題数

択一式問題 44 問（配点 88 点）、記述式問題 2 問（配点 12 点）

第 1 巻 テキスト分冊 1 「人間と社会・介護 1」から、

択一式問題 16 問（配点 32 点）、記述式問題 1 問（配点 6 点）

第 2 巻 テキスト分冊 2 「人間と社会・介護 2」

択一式問題 16 問（配点 32 点）

第 3 巻 テキスト分冊 3 「こころとからだのしくみ」

択一式問題 12 問（配点 24 点）、記述式問題 1 問（配点 6 点）

##### 4 合否判定基準

70 点以上。各出題範囲における最低基準点は設けない。

A = 90 点以上 B = 80 ~ 89 点 C = 70 ~ 79 点 D = 70 未満

##### 5 不合格の場合の補習等の実施方法及び再試験

- ・結果発表後、1 時間の補習を行い再試験を行う。

なお、再試験に係る合格基準は 70 点以上とする。

\*再試験料 1,000 円

### 【講師情報】

- ・名前、略歴、現職、資格、などは別紙「講師一覧表の通り」

### 【研修実績】

- |          |        |     |       |          |        |     |      |
|----------|--------|-----|-------|----------|--------|-----|------|
| ・ 2013 年 | 5 講座開講 | 修了者 | 106 名 | ・ 2014 年 | 5 講座開講 | 修了者 | 79 名 |
| ・ 2015 年 | 5 講座開講 | 修了者 | 74 名  | ・ 2016 年 | 4 講座開講 | 修了者 | 55 名 |
| ・ 2017 年 | 4 講座開講 | 修了者 | 44 名  |          |        |     |      |

### 【連絡先等】

- ・申込・資料請求・法人の苦情担当・事業所の苦情担当者

氏名 日原 盛一

所属名 優和スクール 事務担当

連絡先 055-268-6002